

科学者委員会学協会連携分科会（第24期・第5回）議事要旨

1 日 時 平成30年11月8日（木）10時00分～12時00分

2 場 所 日本学術会議 5-C(2)会議室（5階）

3 出席者

三成美保委員長、米田雅子副委員長、
宮崎恒二委員、若尾政希委員、望月眞弓委員、菱田公一委員、
山口周委員、池田駿介委員、川口慎介委員、
日本学術協力財団 谷口常務理事（オブザーバー）

4 配布資料

資料1 前回議事要旨

資料2-1 宮崎委員報告資料
（人文・社会科学分野における電子ジャーナル問題）

資料2-2 山口委員報告資料
（材料系学協会・ジャーナルの現状と課題）

資料3-1 提言案「学協会に係る法人制度の見直し、改善等について」

資料3-2 公開シンポジウム「学術を発展させる法人制度に向けた提言～
公益法人法10周年～」ポスター

5 議題

（1）前回議事要旨について

前回の議事要旨について確認された。

（2）ジャーナル問題について

宮崎委員及び山口委員からそれぞれ説明が行われた後、質疑応答及び意見交換が行われた。

（3）提言案「学協会に係る法人制度の見直し、改善等について」について

池田委員から資料3-1に基づき説明が行われた。提言案にかかる意見交換については、今後委員間のメールにて行い、最終的にはメール審議で承認を得る流れとすることが承認された。

（4）その他

・次回の開催予定は来年4月を候補とするが、メールでの意見交換を多く行うことで審議内容をより詰めた状態にする、等の準備を行った後に開催することとなった。また、次回までの間、分担して様々な情報を収集することとな

った。

- ・本分科会の審議内容として、以下についての認識を共有した。
 - ①電子ジャーナルの契約問題について
次年度に早期にシンポジウムを行い、提言等の発出を目指す。
そのために必要となる調査を分担して行うとともに、関係省庁の意見を聞く機会を設ける。
 - ②学協会連携の意義（学術ジャーナルの共同発行を含む）の問題について
本分科会の重要テーマとして、別途、シンポジウムを行って問題提起し、提言等の発出を目指す。
- ・第三部が企画している学術フォーラム（案）について、米田副委員長より紹介があった。

以上